

第26回鹿児島県立川辺高等学校福岡同窓会報告

平成26年10月18日(土)、天神市街を見下ろす福岡国際ホール16階「志賀の間」で、第26回福岡同窓会が開催されました。本部同窓会からは大坪憲市同窓会会長の代理として、亀甲俊博同窓会評議員(昭和47年卒)が出席しました。本校からは、小屋敷浩昭校長先生、中尾龍二同窓会係(昭和52年卒)が出席し、昭和31年卒の先輩から平成17年卒の後輩まで総勢33名(二次会からの参加者一人含む)での同窓会となりました。

本田正郎さん(昭和31年卒)の軽妙な司会進行のもと、上野修一福岡同窓会副会長(昭和43年卒)の開会のことばをスタートに会が始まりました。産業医科大学副学長であり産業医科大学病院の病院長にも就任された佐多竹良福岡同窓会会長(昭和43年卒)は、知覧町下郡出身の赤崎勇先生のノーベル物理学賞受賞を話題にされながら2時間楽しく過ごしたいと挨拶されました。来賓あいさつでは、大坪会長代理として出席された亀甲さんが、川辺高校は頑張っているという大坪会長のことばを伝えました。また、県内各地から生徒が集まってくる学校を目指して欲しい。校歌・校訓に謳われている内容を実現できるシステム作りを考えていく必要がある。ご協力・ご支援をお願いしたいと挨拶されました。次に、小屋敷校長先生から、ここには昭和31年卒の方から平成17年卒の方が集ってきている。この約50年というつながりを見ると感慨深いものがある。各地区の同総会に参加するたびに熱き思いが伝わってくると挨拶され、母校の近況報告として、全国大会に出場した部活動や大きな話題になった文化祭での1年生の爪楊枝アートに触れ、最後に、母校のことを話題にして楽しい語らいの場にして欲しいと締めくくりました。

亡師亡友への黙祷のあと、福岡同窓会恒例の校歌斉唱(旧制中学校校歌1番・2番、新制高校校歌1番~4番)、上木原純一郎さん(昭和43年卒)の乾杯の音頭と続き、歓談となりました。しばらくしてから、司会進行が堀内勉副会長(昭和42年卒)にバトンタッチされ、「あいやこいやらの近況報告」となりました。出席者の皆さんが、おしゃべりすることなく近況報告を聞き入ったり、機知に富んだ合いの手を入れたりする様子を拝見しながら、福岡同窓会の皆様の絆の強さを感じるひと時となりました。時間はあっという間に過ぎ、これも福岡同窓会恒例の「輪になってもう一度校歌斉唱」、南谷洋至事務局長(昭和49年卒)の一度見たら忘れられない「万歳三唱」、堀内副会長の「閉会のことば」で、予定時間を大幅にオーバーしてのお開きとなりました。(この後、同窓生の皆様はこれも恒例のモツ鍋屋での二次会に向かいました。)

最後に、貴重な時間を過ごさせていただいたことに感謝し、ここに報告いたします。

佐多会長の挨拶



亀甲さんの来賓挨拶



一回目の校歌斉唱



各年代の近況報告が続きます



二回目の校歌斉唱はこんな感じです。



最後に記念写真撮影です

